

## 82 オオヨシゴイ

(ペリカン目)

*Ixobrychus eurhythmus*

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:調

環境省ランク: CR

### 種の概要

シベリア南東部から中国東部、朝鮮半島、日本北部などで繁殖し、繁殖後は東南アジアなどに渡り、越冬する。日本では、北海道から本州北・中部で繁殖する例がある。春秋の渡りの時期には不定期に全国各地を通過するが、記録は極めて少ない。ヨシ原や草原に生息し、小魚類やカエル類、エビ類などを捕食する。



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

### 国内分布

北海道、本州北・中部、佐渡、舩倉島、隠岐、本州南西部、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、琉球諸島、南大東島

### 県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

姫路市、尼崎市、明石市、★西宮市、伊丹市、三木市、朝来市、加東市、播磨町

### 主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁 殖	希 少
○		○				○	○		○

### 県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内で公にされている記録は少ないが、主に5月と9-10月に記録がある文献上は、1932年10月明石市土山が最初で、1992年5月の三木市細川町脇川での記録が最後となっている。観察が難しいこともあり、記録個体数は極めて少なく、ほぼ迷行に近い状態となっている。

### 保護上の留意点

本種の生息には広大なヨシ原、湿地やため池を必要とするため、それらの環境の保全及び再生が必要。また、減反により休耕となった田圃も水を張ることによって本種の好む湿地環境を創出することが可能である。